



●安曇地区●	
699世帯	
男女	688人
合計	689人
合計	1377人
R3.5.1現在	

松本市「中原淑子育英基金」創設 未来の「学校の先生」を応援します。

令和元年に93歳で亡くなった島々の元教員中原淑子さんの遺志に基づき、中原さん側から市に寄付された1億6千5百万円余りが、現役の学生を支援する給付型奨学金として活用されることになりました。



▲昭和33年安曇小学校入学式(右上が中原先生)

中原さんは大正15年に東京で生まれ、5歳で父親を亡くした後、母親の故郷の松本に移り住み、松本高等家政女学校(現松本美須々ヶ丘高校)を経て教員



▲晩年の中原先生

になり、市内や旧安曇村などで小学校の教員として定年まで勤務されました。子供好きで温和で、宿題を忘れてばかりの生徒には、放課後熱心に指導されていたそうです。退職後は島々地区で暮らし、日課の散歩を楽しんだり、華道「利休古流」の師範として教室を開いて、自生する道端の草花にさえも心を寄せ自然を愛される方でした。

中原先生のご遺志に心より感謝申し上げます。一人でも多くの教員志願者にこの制度を活用していただきたいと思えます。

申込み、問い合わせは市学校教育課まで。(TEL 33-9846)

支給について

- 対象者 ▶長野県内の小中学校教員を志望する大学生等(R4年度入学または在學生)
- 給付額 ▶月額4万円(上限4年)
- 募集人数 ▶年間10人以内
- 選考要件 ▶意欲、成績、所得等
- 返還 ▶在学中に免許状を取得できなかったとき、卒業後ただちに教職に就かなかったとき



スケジュール

- 募集開始 R3年秋頃
- 給付開始 R4年4月～



風穴の蔵入れ式がありました

安曇公民館 深町 舞美

この度、安曇公民館でお世話になります。深町舞美と申します。自然豊かな安曇地区に携われる事を嬉しく思います。みなさんからも色々教えていただきながら地区のことを知ってみたいのです。

今回初めて風穴に入り、蔵入れ式も見学させていただきました。風穴にお酒を入れることでいえば、一定の最適な温度で保存することで味が変わることも



▲蔵入れ式の様子

初めて知りました。また停電時にも電気に頼らず温度を一定にできることは改めて素晴らしい地域の財産だと感動しました。



▲おいしいお酒になるように皆で運び入れます



これからも自然を利用した先人たちの財産を盛り上げ、守っていければと思います。

あづみくまのついで



大城 伸彦 由美子(島々地区)

昨年の4月に、この安曇島々地区に引越してきました。引越してきた昨年は、コロナ、地震、豪雨、熊の出没、自然の厳しさが身に染みた1年でした。

しかし、そんな中、子供たちが通い始めた安曇小学校。1人

1人の存在がとても大きく、転校してきた娘たちを安曇の一員へと迎え入れてくれる子供たちの存在が、我が家にとってもどれほど心強く有り難かった事か！出来ない行事も多かった中、運動会に安曇祭など初めての全校行事は、サボるなんてもっての外、1人1人が全力でやっている姿に感動し、こちらも楽しませてもらいました！この安曇の贅沢な環境で学べる事、地域の皆様が温かく見守ってくれてる事に感謝し、この安曇を子供たちがもっともって盛り上げていってくれる事を期待しています!!



今は少し先輩に頼っているけど、できるだけいろいろな事を自分で。中学でがんばりたいこととは部活と、数学と、技術です。部活に取り組むことで体力とあきらめない心を育てることができ、数学と技術をがんばることで自分の夢にも近づけると思っています。

中学校でがんばりたいこと

僕の夢は図工の本を出版する人になることです。小学校の頃からものづくりが好きで、授業の時間以外でもずっと取り組んできたからです。



分のできるようにしていきたいです。これから多くの楽しいこと、悲しいことがあると思いますが、みんなが中学校生活を楽しんでいきたいです。

1年 上松 翔馬



新入生歓迎の言葉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。少し大きめの新しい制服に身を包んだ皆さんは、これからの生活に期待や不安でいっぱいだと思います。しかし、心配はいりません。分からないことや心配なことがあれば僕たち上級生に気軽に相談して下さい。

中学校では勉強が難しくなりますが、先生方と一緒に、クラスの仲間と高め合っていきたいと思います。部活動も始まります。僕たちと一緒に勝利を目指しましょう。生徒会活動は小学校の時よりも自分で考えて行動しなければいけません。人数が少ないこの安曇中学校では生徒会や部活などで一人一人の負担はとて大変です。しかしその分やりがいを感じることが出来ます。楽しい行事もたくさんあります。今まで参加する側だった安曇祭は、これからは運営する側になります。昨年度はコロナ禍で活動が制限される中でしたが、百人一首大会を三年生が企画し、学年の壁を越えてチームで協力し、盛り上がることで

きました。今年度も全校で楽しめる企画を考えて、一つの目標に向かって一緒に大きな壁を乗り越え、達成感を味わいましょう。

今年度の生徒会スローガンは「千紫万紅、一人一人が主役になれる生徒会」です。皆さんも、クラスの仲間、上級生、下級生、そして先生方、お家の方など、たくさんの人と協力をし、周りで支えてくれる人達を大切にして、全員が輝ける、充実した中学校生活を送って下さい。

これから令和三年度という新しい一年が始まります。一年生の皆さんだけでなく、僕たちが在校生も期待で胸がいつぱいです。安曇中学校の生徒としての誇りを持ち、全校生徒十六人で力を合わせて頑

張っていきましょう。よろしくお願います。在校生を代表いたしまして、歓迎の言葉とさせていただきます。

令和三年四月六日
生徒代表 奥原 幸紀



安曇小中学校

元気な
存続つこ

入学式